

桂川町の未来は……きっと  
**明るい**



### 自然で笑顔あふれる桂川町

6年2組6班

わたしたちがえがいた桂川町のグループの提案

**提案**

- 1 自然を体験して子どもや高齢者にも楽しめ知識も身につけられるところ。
- 2 観光客の人々に自然を体験でき、桂川町にも呼びよせられるところ。

虫はきれいな所にはいり、自然を豊かにし虫を増やそう。

2 イベント { 何と何と一昆虫採集  
観客向けは動物園や体験家族向けはビンゴ大会

3 PR-ケーブアルテレビ放送

ホームページ

子どもから高齢者まで来た人が自然について体験できる町 湯ノ浦キャンプ場

現状

ポイ捨てが多いということは町がよくなっているということになり、町がよくなっていることが住みにくいということ。

湯ノ浦キャンプ場を利用したことがある

わたしたちの願い・感想

- ・ごみがおろていなくて人口が少なくなると、湯ノ浦キャンプ場を利用する人が多くなるよう町になってほしい。
- ・この取り組みを通して、今の桂川町の現状が分かって、このようにお願いしたい。これからの桂川町の未来は、少人数の環境をすすめていくことがいいことだと感じました。

**クリーン大作戦**

月に1回

みんなでそうじ



2月27日(木)、桂川小学校6年生と桂川東小学校6年生による、「桂川町の未来を考える」総合学習が行われました。

桂川町の明るい未来のために、町の現状や課題などを踏まえたうえで、テーマを決定。1グループ6人に分かれて、模造紙やスライドショーを使って井上町長、教育長、同級生たちの前で発表をおこないました。

### 高齢者でも安心して暮らせる町づくり

2. 現状の問題点

6年生 18人に高齢者が安心して暮らせるようにどのような取り組みをすればよいか聞きました。

食料の配達	8人	お世話「介護予防」	7人
福祉の改りよう	2人	その他	1人

買いたい物が出る場をつくることで高齢者や身体の不自由な方も気軽に通える

身近な道路・公園の維持管理

5. 提案

1. 食料の配達
2. お世話「介護予防」
3. 高齢者との交流

桂川東小学校

## 高齢者が幸齢者に

### 高齢者が幸齢者になれる町に!

桂川小 6年3組3班

私たちのえがいた未来

高齢者 体の不自由な人たちが安心して暮らせる町づくり

困っていること

高齢者や、体の不自由な人が自由に行動することができない。

お金の少ない外出先が少ない。高齢者や体の不自由な人が安心して暮らせる町づくり。

提案

高齢者 体の不自由な方たちのためにどうやって生活していけるか相談できる場所をひまわりの里に作る。そして、1人でくらししている高齢者などのふれあいの場をつくらせて、月に2回くらいイベントを行う。

原簿い・考えたこと

私たちに、高齢者の方、体の不自由な方が、少しでも笑顔になれるように、この提案をしました。この提案をきかずに、高齢者の方、体の不自由な方たちが、少しでも笑顔になっていたらうれしいです。高齢者の方、体の不自由な方が楽しく暮らせる町にしたいです。